



阪神ホールディングス株式会社様（所在地：富山県富山市）

医薬品向けプラスチック容器・キャップの製造・販売。クリーンルームを備えた製造環境で半世紀以上の実績を持ち、柔軟な生産体制と高度な技術力で幅広い薬剤・製剤に対応しています。

安全性・信頼性を最優先に、環境に配慮したものづくりを推進し、医薬品業界の発展と人々の健康に貢献されています。

課題

- ・災害 / 障害リスクに対応できる運用
- ・人に依存しない体制づくりと運用負荷解消
- ・老朽化オンプレ環境の維持コスト軽減

効果

- ・BCP対策で“災害に強い”事業継続性を確保
- ・日々の運用負荷を軽減！
- ・注力業務に集中できる環境へ
- ・維持コストから解放！安心できるIT基盤に

—検討のきっかけを教えてください—

BCP対策と情報システム部門の運用負荷増大が大きな課題でした。得意先さまからBCP対応を問われる機会が増える中、能登半島地震で現行運用の限界を痛感。状況改善のため、安心して任せられる外部データセンターの利用を検討しました。

—どのような課題をお持ちでしたか？—

当時、全システムを本社に集約し、バックアップは別拠点で管理していました。しかし、能登半島地震でサーバラックが移動し、現地対応を余儀なくされるなど、災害時の事業継続性に不安が顕在化。さらに、得意先さまからの定期的な監査でBCP対策の質問が増え、現行体制では十分な説明ができない状況でした。

※別途、「サーバ障害復旧支援サービス」に加入している場合に対応可能。

こうした中、情報システム部門の負担は年々増加。日々の監視や確認に加え、障害時の業者手配や復旧対応など業務は多岐にわたり、業務集中時には残業や休日対応が常態化していました。さらに、業務が属人化しており対応遅延や継続性のリスクも増加。そのため、注力すべきDX推進などの前向きな業務に時間を割けない状況でした。

さらに、自社設置型運用では、年間100万円以上の維持コストや機器更新などの突発的な支出も発生。攻めのIT投資に回せる余力が削られる課題もありました。

—採用の決め手を教えてください—

サービス導入の目的である、BCP対策強化と運用負荷軽減を実現できると判断したためです。複数のデータセンターを比較しましたが、長年の取引実績やサポート体制への信頼に加え、効データセンターの堅牢性と対応力も魅力でした。

—効果はいかがですか？—

耐震性・電源・空調・監視体制が整った環境へのハウジング移行で、災害リス

導入事例 Oensハウジングサービス

サーバ移行でBCP強化と運用負荷軽減！

自然災害を機に選んだ安心のインフラ基盤

能登半島地震を機に災害リスクを再認識。BCP対策とサーバ維持負担の軽減を目的に、自社設置型運用からハウジングへ移行しました。データセンター管理により災害リスクを大幅に低減。さらには、業務負荷軽減により、コア業務へのリソース最適化に向けた体制づくりに成功した事例をご紹介します。

取材協力

執行役員 グループ統括 本部長 上田 祐輔 様
情報システム係 係長 大平 健一 様



導入事例
完全版を見る

クを大幅低減。得意先さまへのBCP説明の説得力が増し、信頼性向上に繋がりました。安心して業務継続できる環境を確保でき、非常に満足しています。

監視や障害対応は専門SEへ委託し、予兆段階の双方向連携を実現。復旧時間の短縮と急な呼び出し頻度が減少し、業務改善やDX推進などの前向きな活動へリソースを集中できるようになりました。

さらに、オンプレ維持で発生していたコストや設備更新の負担から解放され支出リスクを抑制。サービス導入で総コストは増加しましたが「BCP強化と運用負荷軽減」という“保険価値”を優先した体制が実現しました。災害リスクの低減や属人化の解消に資する投資は、将来的な価値にもつながると考えています。

—今後の取り組みや展望を教えてください—

運用のアウトソース化や自動化を進め、さらなる負担軽減を目指したいです。また、生成AI活用やシステム統合による業務簡略化を実現し、全社的なデジタル活用で競争力を高めたいです。

～創業から100年を超え、健康を支える企業～

HANSHIN GROUP

URL <https://www.hanshin-group.co.jp/>



オンデマンド配信のご案内

第18回 HCSソリューションフェア2025

トークセッション

お申し込みはこちる!



イベント出展のご案内

「CareTEX 東京 2026」に初出展!

2月25日(水)～27日(金)、東京ビッグサイト西展示棟で開催される「CareTEX 東京 2026」に当社は初出展します!

当社ブースでは、介護施設特化型クラウド勤怠管理サービス「ケアぽけっと勤怠」をご紹介。紙やExcelでの勤怠管理を効率化し、複雑な勤務パターンにも対応することで、業務負担の軽減・公正な運用・離職防止につながる仕組みを体感いただけます。



2025年11月に開催しました「HCSソリューションフェア2025」。好評だった基調講演を期間限定でオンデマンド配信いたします!

「もう一度見たい」「AIに興味があるが、フェアには参加できなかったので視聴したい」といった方々にオススメです。ぜひお気軽にお申し込みください。

基調講演に参加された方の声



興味深い内容で、共感できるところが多く、学びがありました。



※お申し込み受け付け後、動画URLとパスワードをメールいたします。

HCSのどこがお

システム本部
ソリューションシステム部

うわぎ
みゅう
上木 実侑 さん

Q. 業務内容を教えてください。

システム開発に携わり、プロジェクトリーダーを担当しています。

お客様とのやり取りもメインで担当し、要望の整理や説明を行っています。説明の際は伝わりやすい言葉で話すことを意識し、積極的なコミュニケーションを心掛けています。以前は

上司に頼る場面も多かったですが、今ではお客様の質問に即答できる場面が増え、達成感を感じています。「この人に聞けば大丈夫」と頼ってもらえることも大きな自信につながりました。

今後は、さらに幅広い知識と経験を深め、お客様との信頼関係づくりが得意なSEを目指して頑張りたいです。

Q. 趣味を教えてください。

好きなアーティストのライブや舞台鑑賞で、今年はライブ4回・舞台2回と充実しています。母と一緒にに行くこ



とが多く、感想を語り合う時間も楽しいです。いつも元気をもらえて、「明日も頑張ろう」と思えるほど日々のモチベーションになっています。

次は、家族で兵庫のライブへ行く予定で、今からとても楽しみにしています。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。2026年は「丙午(ひのえうま)」の年。午は「行動力」と「情熱」、丙は「陽の気」と「勢い」を意味し、力強く前進する一年になるといわれています。新しい価値を生み出す絶好のチャンスですね。

『HCS NewsLetter』では今年も、現場で直面した課題をどう乗り越えたのか、その具体的な取り組みを紹介し、皆さまの業務に活かせる実践的なヒントをお届けします。次の一步を踏み出すきっかけとなれるよう努めてまいりますので、本年も変わらずHCSをよろしくお願ひいたします! 皆さまにとっても明るく希望に満ちた一年になりますことを心より祈念しております。(うえすぎ)

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら→



全力パートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL: (076)495-9824 HP: <https://www.hcs.co.jp/>